

## 会 議 録

<b>名 称</b>	松山市子ども・子育て会議 地域子育て部会				
<b>事務局</b>	保健福祉部子育て支援課 TEL 089-948-6418 FAX 089-934-1814				
<b>開催日時</b>	平成29年5月30日(火)10:35~11:40				
<b>開催場所</b>	松山市青少年センター 3階 大ホール				
<b>出席者</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;"><b>委員</b></td> <td>井上もと子、太田佳光、金谷めぐみ、加納飛鳥、恒吉和徳、堀田真奈、安田智美 (五十音順、敬称略) 合計7名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>事務局</b></td> <td>子育て支援課長等担当者 合計14名</td> </tr> </table>	<b>委員</b>	井上もと子、太田佳光、金谷めぐみ、加納飛鳥、恒吉和徳、堀田真奈、安田智美 (五十音順、敬称略) 合計7名	<b>事務局</b>	子育て支援課長等担当者 合計14名
<b>委員</b>	井上もと子、太田佳光、金谷めぐみ、加納飛鳥、恒吉和徳、堀田真奈、安田智美 (五十音順、敬称略) 合計7名				
<b>事務局</b>	子育て支援課長等担当者 合計14名				
<b>議 題</b>	地域子育て部会の審議事項				
<b>議事内容</b>	<p>1. 開 会</p> <p>2. 委員及び事務局職員紹介</p> <p>3. 報告事項</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 本日の報告事項について</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 松山市子ども・子育て支援事業計画」の平成27年度の実施状況について</p> <p>4. その他</p> <p style="margin-left: 20px;">連絡事項等</p> <p>5. 閉 会</p> <p><b>【委員からの意見等】</b></p> <p>(養育支援訪問事業その他要支援児童、要保護児童等の支援に資する事業について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・評価をするにあたって、訪問数だけの評価は難しいので、具体的な情報や、どれぐらいの方々が支援を行ったのかという情報もできれば欲しい。</li> <li>→ (事務局) 支援を必要とする方は子育ての相談相手や協力者がいない方やお母様やお子さん自身が障がいをお持ちで子育てに悩んでいる方など、いろいろな状況が複雑に入り混じって相談がくる。支援を行っているのは保育士、保健師、社会福祉士、心理判定員など合計43名。</li> <li>・要支援児童のサポートについて、支援する方々の人数が適正であることが質にもつながるので、情報の開示をしていただければありがたい。</li> </ul> <p>(乳児家庭全戸訪問事業について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問した子どもの数での評価になるが、保護者の方がどういった反応だったのかとか、もう少し知りたい。訪問員さんのやりがいとか自己肯定感も高まるから、質の向上にもつながるかと思う。</li> <li>・乳児家庭全戸訪問事業の訪問員は一般公募で募集し、養成講座を受講していただき、一番身近な担当の地区を訪問し地区の情報を提供している。訪問員は、電話で訪問の約束をとることから始め、家庭の中に入って行くので、訪問員1人1人が真摯な気持ちで取り組み努力している。</li> <li>→ (事務局) アンケートは取っておらず、全体的な満足度などはお示しできないが、いただいたご意見は毎月、母子保健訪問員と保健師の定例会で共有している。28年度以降は保健師がいる窓口に母子健康手帳を取りに来てもらっており、その際にアンケートを実施し不安が強い方は特に気を付けて訪問している。</li> </ul>				

・赤ちゃん訪問について、費用の問題もあるが、一定の期間毎に利用者側の意見を拾うということは評価の視点では必要。意見をフィードバックするようなシステムを検討していただきたい。

(病児・病後児保育事業について)

・具体的にどういったものなのか、現在の受入れの確保をしている内容や今後の課題などを聞きたい。

→(事務局) 保育所等に通うお子さんが体調を崩したけれど、保護者の方がお仕事を休むことができない場合に、病院でお預かりするという事業で、松山市では石丸小児科、天山病院、芳村小児科、愛媛生協病院の4つの病院に事業を委託して実施。実績としては4,732名で、内訳は、多い順に天山病院が2,534人、石丸小児科が1,007人、愛媛生協病院が750人、芳村小児科が441人。病院によって病児保育室の面積や保育士や看護師の配置基準に差があり受け入れ人数に差はあるが、基準内で柔軟に対応はしていただいている。4つの病院以外にも、医師会等を通じ事業の案内や直接、出向いての説明している経緯はあるが、なかなか手を挙げていただいているところが無いというのが現状。市民ニーズも高い事業なので、必要に応じ、できるだけ拡充に努めていきたい。予算額と決算額が同額なのは、市民ニーズの高まりで当初予算が不足し流用して対応したため。

(ファミリー・サポート・センター事業について)

・年度の提供会員数の目標数値やどれぐらいの人数が必要と考えているのかを教えてください。また、地区別での提供会員の充足感というはあるか。

→(事務局) 依頼会員のニーズに応じられるよう、できる限り提供会員を確保していきたい。特に北条地域では提供会員が不足していると聞いている。

・依頼会員や提供会員の地区別の偏りなどがあると思う。バランスの取れていないところをどうやって調整するのかという問題が考えられ、地区ごとの偏りが無いかどうかの検証は必要だと考える。

・ファミリー・サポート・センター事業を利用する延べ人数だけでなく、実人数が知りたい。毎日利用するような方がいるとは思いますが、単発で利用する方々も増えていただきたいと思うので。

→(事務局) 本日回答できなかった事項は後日、資料を提供する。

(評価について)

・実績数値が目標通り達成できたことを評価とするのか、あるいは、子育て支援等を受けないほうが子どもの健全育成という点ではいいという考えもあるし、周知が不足しているので、必要としている方になかなかサービスが繋がっていないとも考えられ、どのように評価するか難しい。

(配布資料)

- ・平成29年度 第1回 松山市子ども・子育て会議 地域子育て部会 次第
- ・平成29年度 第1回 松山市子ども・子育て会議 地域子育て部会 配席図
- ・本日の報告事項【資料1】
- ・「松山市子ども・子育て支援事業計画」の平成27年度実施状況  
～事業計画第4章「施策の展開」部分～【資料2】
- ・「松山市子ども・子育て支援事業計画」の平成27年度実施状況  
～事業計画第5章「子ども・子育て支援の新たな取り組み」部分～【資料3】

備考(資料)	全部公開	部分公開	非公開
公開・非公開	0人(5席)		
傍聴者数			